

# 令和5年度専攻科入学試験問題

## 数 学

|          |  |        |  |
|----------|--|--------|--|
| 受験<br>番号 |  | 氏<br>名 |  |
|----------|--|--------|--|

### 諸 注 意

1. 問題用紙は全部で4枚です。5枚目に計算用紙が付いています。
2. 問題は問Ⅰから問Ⅳまであります。全てに答えてください。
3. 解答欄には途中の計算と説明も書いてください。説明不足は減点対象になります。
4. 試験時間は90分です。
5. 試験開始60分後から退出できます。試験問題用紙を裏返しにし、試験監督者の許可を得て静かに退出してください。
6. 開始の合図があるまで本問題用紙を開かないでください。

| 問Ⅰ | 問Ⅱ | 問Ⅲ | 問Ⅳ |
|----|----|----|----|
|    |    |    |    |

(採点表です。受験生は記入しないでください)

|     |
|-----|
| 合 計 |
|     |

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

問題 1 次の各問いに答えよ。[6点×4]

(1)  $\frac{1}{x^2-x} + \frac{-2}{x^2-1}$  を計算せよ。

【解】

(2) 方程式  $3^{x-1} - 3^x = -18$  を解け。

【解】

(3) 不等式  $\log(x-e) < e$  を解け。

【解】

(4) 三角関数の加法定理を用いて、 $\tan \frac{\pi}{12}$  を求めよ。ただし、分母の有理化をした形で答えよ。

【解】

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

問題 II 次の各問いに答えよ。[6点×4]

(1) ベクトル  $\vec{a} = (1, 2, -1)$  と  $\vec{b} = (1, -1, 2)$  のなす角  $\theta$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ ) を求めよ。

【解】

(2) 行列  $A = \begin{pmatrix} 2 & -1 \\ 5 & -2 \end{pmatrix}$  であるとき、行列  $B = A^3 - 3A^2 + 2A - 2E$  を求めよ。

【解】

(3) 関数  $f(x) = \frac{x^2}{x-1}$  で、 $x = 2$  における法線の方程式を求めよ。

【解】

(4) 定積分  $\int_1^{\sqrt{e}} \log x \, dx$  の値を求めよ。

【解】

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

問題 III ある連続型確率変数  $X$  が閉区間  $[\alpha, \beta]$  で  $f(x) \geq 0$  で区間  $[\alpha, \beta]$  の外では、 $f(x) = 0$  となる関数  $f(x)$  が  $\int_{\alpha}^{\beta} f(x) dx = 1$  を満たすとき、 $f(x)$  は  $X$  の確率密度関数になっている。

このとき、 $\alpha \leq a \leq b \leq \beta$  のとき、確率  $P(a \leq X \leq b)$  は  $P(a \leq X \leq b) = \int_a^b f(x) dx$  で計算され、確率変数

$X$  の期待値  $E(X)$  は、 $E(X) = \int_{\alpha}^{\beta} xf(x) dx$  と定義されている。以下の問いに答えよ。

(1) 定数  $c$  に対して、 $f(x) = \begin{cases} \frac{c}{x^2+1} & (-1 \leq x \leq 1) \\ 0 & (x < -1, x > 1) \end{cases}$  が確率密度関数になるように、定数  $c$  を定めよ。

[10 点]

【解】

(2) 関数  $y = f(x)$ 、さらに  $y = xf(x)$  が偶関数かどうかを答えよ。答えのみでよい。[8 点]

【解】

(3) (1) で定めた  $c$  を用いて  $X$  の期待値  $E(X)$  を求めよ。[8 点]

【解】

|      |  |    |  |
|------|--|----|--|
| 受験番号 |  | 氏名 |  |
|------|--|----|--|

問題 IV  $x = 8 \cos^3 \theta$ ,  $y = 8 \sin^3 \theta$  ( $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ ) で表される  $xy$  平面上の曲線  $C$  について次の各問いに答えよ。

(1)  $\frac{dy}{dx}$  を  $\theta$  の関数として表せ。[10 点]

【解】

(2)  $\theta = \frac{\pi}{3}$  に対応する曲線  $C$  上の点を  $P$  とする。点  $P$  におけるこの曲線の接線の方程式を求めよ。[8 点]

【解】

(3) この曲線  $C$  の長さ  $L$  を求めよ。[8 点]

【解】

